

令和2年7月31日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム・ひなたぼっこえびすヶ丘

施設種類：認知症対応型共同生活介護

7月の運営推進会議は、コロナウイルス感染拡大防止の為、事前にホームの状況等を書面で送り、後日皆さんから意見を聞き運営推進会議開催に変えることにした。

【入居者状況】

入居者9名（女性 8名 男性 1名）

平均年齢 89歳 平均介護度 2.2（1～4）

・入退去なし

【活動状況】

- ・ 散歩・日光浴・ドライブ・訪問カット
- ・ 計算ドリル・新聞折り・刺し子・生け花教室・書写
- ・ ラジオ体操・体操・歩行訓練・おやつ作り・たこ焼き作り・巻きずし作り
- ・ 季節行事～七夕・蟠竜湖へドライブ・梅シロップ作り・柏餅作り
- ・ 地域行事～溝掃除参加（2名）

【事故・ヒヤリハット・苦情】

- ・ 事故 0件
- ・ ヒヤリハット 1件（階段からの転落の危険）

*火災時の避難訓練実施

消防署立ち合いのもとで避難訓練実施しました

○初期消火が大切であるが、訓練時は緊張し初期消火を忘れてたり、声が小さく火事である事が周囲に伝わりにくかったりと、訓練でも慌てて冷静に対応が出来ない状態だった。実際は火が上がるとパニックになり、訓練通りには行かない為、訓練を重ねる事が大切である事を指導される。

出火と同時に消火器を持ち、初期消火を行う事が出来るよう、消火器の場

所は必ず確認しておくこと

○たこ足配線からの漏電による火災が多いので、ホーム内の状態を確認しておくようにアドバイスがあった。

* 面会制限解除について

○家族の方の面会制限が解除され、体温や体調等を確認し居室にて面会していただいた。長期間面会が出来なかった為、来所していただくことが出来、入居者の方も家族の方も安心された。

○感染拡大地域の方については、直接面会は避け窓越しの面会をお願いした。

* 入居者の方の楽しみや生きがいへの支援について

○現在ボランティアや音楽療法の受け入れを見合わせており、又買い物や地域の行事等へ出かける事も中止となり、入居者の方の生きがいや楽しみへの支援が縮小されている。

代替え支援については、職員がアイデアを出し合いながら行っているが、職員以外と接触がない状況で、入居者の方のストレスが増さないか不安な面もある。今後も今の状況が続くと予測され、入居者の方のストレスや不安が増さないよう、ホーム外で人が密集しない場所を選び出かけたり、趣味活動の提供を行ったりと、ホームで何もすることがない状況をつくらないう工夫している。又ホームでの過ごし方をご家族の方に情報提供していき、不安の解消に努めている。

【意見】

○職員がアイデアを出しながら工夫して対応していると思う。

○地域の行事も盆踊り・グランドゴルフ大会・敬老会も中止となった。

防災についての会議も中止となった。

○コロナ対策に加え暑さ対策と介護の現場も大変ではないかと思う。

他は特に意見はなかった